

「子どもたちの想像力を育てたい」

中川さん(御坊市)トリノスギギャラリー開業

御坊市が、市内商店街の空き店舗対策で創設した商店街空き店舗対策事業の第3号認定を受けて、イラストレーターの中川貴雄さん(41)が2日、本町商店街内、フロンティアキング横にトリノスギギャラリーを開業した。絵の展示販売やグッズ販売のほか、子どもたちを対象に絵画や工作など「ものづくり教室」を展開する。

店名のトリノスは「鳥の巣」のことで「子どもたちがここで育ち巣立ってほしい」という思いを込めた。内装は、リラックステキで明るい気持ちになるよう、板張りの壁を白と黄色で塗り、原画やキャンバス画など約500枚を展示。2011年2月から毎日描きためている「絵のしりとり」や、毎日の記念日

を絵で表した作品のほか、クマが的を持って顔出しパネルなども設置し、明るく楽しい雰囲気漂う。絵はアクリル絵の具を使い、手で描くのが中川さん流。動物、特にパンダやクマ、フタが好きで作品にもよく登場する。

店内ではオリジナルのマ

グカップ1500円(税込)30個を限定販売するほか、弁当箱やレターセットなど、これまで手掛けた作品も販売する。「自分の絵を見てもらうだけでなく、人と人とのつながり、交流ができる場所になれば。子どもと関わり自分も楽しいし、子ども

御坊市空き店舗対策事業



トリノスギギャラリーを開業した中川さん

たちが自分で考える力がつき、想像力が育つきっかけになれば」と話している。中川さんは高校卒業後、大工見習いやコンビニでアルバイトをしていたが、コンビニのオーナーから絵の才能を見出され、大阪デザイナー専門学校イラストコースへ進学。卒業後は5年間、大阪で展覧会やコンペに出品したり活動していたが、2010年から東京に拠点を移し、「わすれんぼうのサンタクロース」など10冊の絵本出版や、福井市自然史博物館分館の内装のイラストも手掛け、韓国の子ども服ブランドやアメリカの雑貨メーカーに絵を提供したりと国内外問わず活躍。

3人の子の親でもあり「子どもたちのびのび過ごしてもらいたい」と10年間の東京生活に終止符を打ち、市の事業を活用して自分のギャラリーをと、2020年7月に帰郷した。ギャラリーの営業時間は午後1時から午後5時まで。不定休。連絡先は電子メール gobo@ekakino-nakagawa.com。ホームページ <http://www.ekakino-nakagawa.com/> 参照。同事業は、空き店舗の利活用促進や新規企業者の出店等を促進するための事業で、空き店舗の家賃補助(月額賃借料の2分の1・上限5万円を12カ月分補助)、空き店舗の改修工事補助(開店に向けた改修費用の2分の1・上限50万円を補助)がある。